

2021年3月22日

調布市少年野球連盟

調布市少年野球連盟 感染予防対策ガイドライン

【2021年3月22日版】

2021年3月21日に発せられた新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京都における緊急事態措置等の解除に伴い、調布少年野球連盟としては、改めて感染予防対策を強化すると共に注意を促すものとします。

活動に際しては、感染予防対策に十分に留意することと少年野球の現場での感染予防対策だけでなく、日頃の日常生活からの三密(密閉、密集、密接)を避けるや大声での発声をしないやマスク着用、手の消毒の励行など感染予防対策をすることが重要です。

なお、本ガイドラインは、2021年3月22日時点での情報、知見に基づいて作成していますので、今後の感染状況や自治体の指導などにより見直される場合があります。

【連盟感染予防ガイドラインの位置づけ】

国や都、調布市の感染症対策を踏まえて、連盟が活動の際に感染予防対策として実施すべき事項についてまとめたものです。

- ① 練習・大会を再開するにあたっての基準
- ② 練習・大会における感染拡大予防の留意点

【連盟感染予防に向けた基本的な考え方】

国の緊急事態宣言の発令及び東京都の緊急事態措置の実施に合わせて「咳エチケット」、「マスクの着用」、「手洗いの徹底や手指の消毒」などの基本的な対策を含め、「三つの密」を避けることなど、感染防止対策を講じることを前提として、活動を行います。今後、感染状況を考慮して、段階的に活動範囲の拡大やガイドラインの見直しを行っていきます。

【参考資料】

本ガイドラインは、下記の資料を参考して作成されており、本ガイドラインに記載が無いものについては、各ガイドラインに従います。

- ・ 日本スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- ・ 日本スポーツ庁「安全に運動・スポーツをするポイントは？」の改正について」
- ・ 日本スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」
- ・ 調布市公共施設の開館・利用における感染拡大防止ガイドライン
- ・ 調布市体育協会「加盟団体活動再開についてのガイドライン」
- ・ 全日本軟式野球連盟「JSBB 感染予防対策ガイドライン」

【チームの活動について】

- ・ 練習参加人数は、選手、指導者、保護者含めて最小限にとどめるものとします。
- ・ 練習時間は、各チームの判断とします。
- ・ 練習中の食事については、密にならないように十分間隔をあけて取るものとします。

【練習試合について】

- ・ 調布市内外のチーム含めて対外試合を許可します。

【感染予防準備】

感染予防するために関係者は、以下の準備を行います。

- ・ 選手、指導者、関係者は各自マスクを準備します。
- ・ 各チームは、体温計、消毒液を準備します。
- ・ 連盟は、体温計、消毒液、『健康チェックシート』を準備します。

【調布市公共施設を利用する場合の注意事項】

多摩川児童公園内運動施設、調布基地跡地運動広場、西町少年野球場などの調布市の公共施設を利用する場合は、以下の点に留意します。

- ・ 調布市内のスポーツ施設を利用する際は、『スポーツ施設の使用にかかる新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト』各項目を確認し管理事務所と連盟に提出します。
- ・ 各チームは、『健康チェックシート』を作成し1か月間保存します。

【感染予防対策】**① 各選手、指導者、保護者において**

- ・ 練習・大会に参加する各選手は、自宅で検温をし、保護者の同意のもと練習に参加するものとします。指導者、保護者においても自宅で検温するものとします。
- ・ 練習等の活動への参加については、強制するものではありませんので保護者にて参加判断をお願いいたします。
- ・ 自宅を出る前に体調を確認し、以下の症状に一つでも当てはまる場合には、練習に参加しないようにします。
 - ✓ 平熱を超える発熱
 - ✓ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状
 - ✓ だるさ（倦怠（けんたい）感）、息苦しさ（呼吸困難）
 - ✓ 嗅覚や味覚の異常
 - ✓ 体が重く感じる、疲れやすい等
 - ✓ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
 - ✓ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ✓ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ・ 高齢者や持病のある方については、感染した場合の重症化リスクが高いことから、より慎重で徹底した対応を促します。

② チーム活動において

- ・ 指導者は、各選手の検温および健康状態を確認し、練習参加を強制しない事とします。
- ・ グラウンドに来る全ての関係者（指導者、保護者、兄弟など）は、自宅で検温し、発熱や咳、倦怠感などの風邪の症状がある場合は、グラウンドへの立ち入りを禁止します。
- ・ トイレ後の手洗いや定期的なうがいを励行します。
- ・ 各チームは、消毒液を用意し、適時選手、関係者が手の消毒を行います。
- ・ 三密を避けるため密閉空間での練習、ミーティングなどは行いません。
- ・ 可能な限り人との距離を 2 メートル確保します。ベンチ内においては一定の距離が保てるように指導します。
- ・ 各選手、指導者、関係者は、各自飲み物を持参し、チームのジャグは使用しません。
- ・ 選手、指導者、関係者は、常に必ずマスクを着用します。ただし、選手の運動時は熱中症予防などの観点からマスクを取り外しての活動を可とします。
- ・ 指示や掛け声は、飛沫が飛ばないように大声を出さないようにします。
- ・ 保護者やその家族は、選手の送迎以外でグラウンドに不要の滞在をしません。
- ・ グラウンド内での食事については、極力避けるようにします。

③ 連盟主催大会における参加者の対応

- ・ 参加者は、自宅で検温を実施してからグラウンドに入ります。
- ・ 大会会場への移動に際しては、密にならない様に配慮します。
- ・ チームの代表者は、各大会の試合当日に各選手、指導者の『健康チェックシート』を大会本部に提出します。

- ・ 競技中のマスクの着用は、選手、審判の判断としますが、ベンチ内には全員がマスクを着用することを推奨します。ただし、熱中症に十分配慮してください。
- ・ 球審はマスクを着用することが望ましいが、競技環境を考慮して球審のマスク着用の義務付けは行いません。
- ・ 試合開始、終了の挨拶は声を出さず礼のみで行います。
- ・ 円陣や密集しての声出しなどの機会は飛沫感染防止のため行いません。
- ・ 肌が触れ合うハイタッチなどは行いません。
- ・ 試合を観戦する場合、観戦者は各自マスク着用のうえ適度な間隔を保ち大声での発声をしません。

④ 連盟主催大会における大会運営の対応

- ・ 安全が確認されるまでの期間は、開会式、閉会式は開催しませんが表彰式(表彰されるチームのみ参加)は開催予定です。
- ・ 試合の会場入りは、試合開始の1時間前を目安とし、試合終了後は活動時間の範囲内で速やかに帰宅します。
- ・ 大会運営委員、審判部、役員も試合当日『健康チェックシート』を大会本部に提出します。
- ・ 大会本部に消毒液を設置します。
- ・ 選手やチームを集めるなど、密集することがないように配慮します。
- ・ 大会運営委員は、感染予防対策を最優先し、あらゆる場面において改善の余地を継続して検討します。

⑤ その他の留意事項

- ・ 国、東京都などの自治体の指導、禁止などがあれば速やかに従います。
- ・ 選手が通学する小学校からの指示、指導に速やかに従います。
- ・ 万が一感染者が発生したとしても誹謗中傷したり、非難したりすることが無いように配慮します。
- ・ 感染者、濃厚接触者が選手、指導者、関係者で発生した場合は、保健所、地方自治体等の指示に従います。

以上

感染予防対策に関する Q&A

- Q. 人との距離を 2 メートル確保を推奨しているが実際可能か？
- A. 三密を避けることが大事と思っています。練習や試合の場面で人との距離が一時的に保てない状況が発生することが予想されますが、選手や保護者で声を掛けるなどして可能な限り間隔を保つようにしてください。
- Q. 消毒液は、アルコールでも次亜塩素酸水でも良いのか？
- A. 手など皮膚の消毒を行う場合には、消毒用エタノールを、物の表面の消毒には次亜塩素酸ナトリウムも有効と言われています。詳細は、新型コロナウイルス感染症に関する清掃・消毒について（東京都健康安全センター）などをご参照ください。
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/assets/diseases/respiratory/ncov/disin.pdf>
- Q. 調布市内のスポーツ施設を利用する際は、『スポーツ施設の使用にかかる新型コロナウイルス感染症対策チェックリスト』あるが大会の時も各チーム提出するのか？
- A. 大会の時は、連盟が代表して管理事務所に報告します。各チームは、『健康チェックシート』を作成して、大会当日に大会本部に提出してください。
- Q. 練習中グラウンドで昼食を食べても良いか？
- A. 練習時間が 3 時間を超える場合は、グラウンド内での食事を可としますが、各選手、指導者十分間隔を取り食事をする様にしてください。
- Q. 多摩川グラウンドへの車の入・出場時間帯は変更あるか？
- A. 感染予防を実施し活動が制限している期間は、車の入・出場時間の制限について解除します。車の入・出場の際は、以下の点に留意してください。
- 車の入・出場の際は、歩行者と交差する箇所（通称 S 字コーナー）に誘導員を立てるようにしてください。
 - 時間帯の規制解除により、同じ時間帯に双方向での車の移動（入場と出場）が想定されますので車間を十分開けて入・出場するように心がけてください。
- Q. 多摩川、関東村、西町の各グラウンドで練習できるのは、1 つの面で 1 チーム（例えば A チーム）のみか？
- A. 多摩川、関東村、西町の各グラウンドにおいては、1 つの面の広さに余裕があるため 2 チーム（例えば A, B チーム）の練習をグラウンドを分ける（例えば内野は A チーム、外野は B チーム）ことにより認めます。ただし、その 2 チームについては、休憩であっても混在しないように注意してください。
- Q. 市外との練習試合にて対戦相手側が感染防止措置を行っていない場合はどうするか？

- A. 全く感染予防対策をしてない団体は無いと思いますが、練習試合開始前に密集、密接を避ける行動を基本として、相手チームに以下をお願いしてください。
- 試合開始、終了時の挨拶での声出し、握手をしない
 - 指導者、応援者のマスク着用の励行
 - 当日参加者の把握